

令和5年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■自主研究 9	公益目的事業 17
主査名	手塚広一郎 日本大学教授	
研究テーマ	交通インフラの整備効果と政策評価に関する研究*	
研究の経過（4月～9月）： <p>本研究プロジェクトでは、令和4年度の研究（1年目）に引き続き、交通インフラを対象として、その政策評価に用いられる費用便益分析・費用対効果分析に関わる課題を経済学的に分析することで、今後の交通インフラを対象とした費用便益分析への改善案を提言することを目的としている。</p> <p>これまでに1回の研究会を開催して、研究会メンバー間で費用便益分析およびその周辺の経済学的課題に関する議論を深めた。第1回研究会の概要は以下の通りである。</p> <p>○第1回研究会の概要</p> <p>開催日時：2023年9月29日（金）18：30～20：00</p> <p>開催場所：日本大学経済学部7号館13階会議室</p> <p>参加者数：9名参加（うち、オンライン参加1名、対面参加8名）</p> <p>報告者および報告タイトル</p> <p>報告者：朝日亮太氏（九州産業大学商学部）</p> <p>報告タイトル：内航海運の暫定措置事業に関する評価について</p> 下期へ向けて（課題等）： <p>2023年度は今後2回の研究会開催を予定している。第2回研究会は、2024年1月中に日本大学経済学部7号館13階会議室にてオンライン併用で開催する予定である。当日は、費用便益分析の理論と実践に関するテーマで外部講師によるご講演を予定している。また、第3回研究会については、2023年3月中に開催を準備しており、当日は諸外国の費用便益分析に関するこれまでの実務的な内容について、研究会メンバーでもある安部馨氏（公益財団法人高速道路調査会）にご登壇いただく予定である。そして、2023年度の研究総括をあわせて実施する。</p>		